

2022年度 枚岡 NC 6月行事報告書

2022.6.28 写真(石田・石井)文(石井)

①行事名 「生駒草花ハイク」

②ねらい

・初夏に咲く花を中心に観察し額田園地アジサイ園を目指してのハイキングを楽しむ

③実施日 2022年6月25日(土) 午前9時30分～15時30分

④場所

枚岡公園事務所～双子塚～額田園地～枚岡公園事務所

⑤参加者 一般参加者 15名 スタッフ 9名

⑥観察会内容

9:30 はじめの会 ・会長挨拶・スタッフ紹介・本日の流れと留意事項

9:40 準備体操

入念なストレッチと熱中症対策のためマスクを外しての歩行のお願い

9:50 5人ずつ3グループに班編成し出発

・落ちていたネムノキの花を手に取り雄しべや雌しべ、花弁を確認。
蜜を出す花も探した。

・ヒマラヤスギの球果の話と持参した種子を飛ばして飛ぶ様子を観察。



・ムラサキシキブ・エノキ・コナスビ・ミツバ

10:25 中展望着

・下見の時のヤマモモは果実がたくさんあったが、今日はほとんどなかった。

10:35 中展望発

・イヌシデの特徴的な樹皮・ハナイカダ(果実)・カマツカ(果実)

・ガマズミ(果実)・ゴズイ(果実)・コウヤボウキの1年枝と2年枝

・コマユミ(果実)・クララの花・ネムノキの葉・ホタルブクロの花



11:10 双子塚 休憩 5分後には出発。

- ・オカトラノオ・テイカカツラ・ハエドクソウ・アカメガシワ
- ・ムラサキニガナ・コマツナギ・ヒメコウゾ（果実）



11:50 タタラ山 休憩 10分後に出発

- ・ドクダミの雌しべ雄しべの観察

12:30 管理道出合いに到着し昼食。思ったより人が少なく無事に食事が摂れた。

- ・ハコネウツギ・イワガラミ・エゴノキ（果実と虫こぶエゴノネコアシ）
- ・ノリウツギ・コナラの土用芽。先週見られたササユリは終わっていた。



13:00 額田園地を目指して出発

- ・ハキダメギク・ヤブヘビイチゴ（果実）・シシウド
- ・タチツボスミレの仲間の閉鎖花の観察・サルトリイバラ・ウスノキ

13:40 アジサイ園到着後、アジサイ観察。この頃から遠くで雷の音が聞こえてきた



ヤマアジサイ



ベニガク



シキダンカ



ホンアジサイ



14:30 雨が降ってきたので、急いで下山。森の中はほとんど濡れずに地面もまだしっかりしていた。途中タタラ山で休憩。

16:00 無事に枚岡公園事務所に到着。森の工作室にて振り返りを行った。



⑦参加者の感想

- 知っているつもり草花でも、新たな発見がありました。
- 前回5月もよかったが、今回も参加して良かったです。
- たくさんの草木の名前を教えて頂いてありがとうございます。次回も参加したいです。
- 初めてでしたが色々教えていただいて勉強になりました。
- 距離の長いのがきつかった。でも楽しかったです。
- 簡単に考えていたのですが、きっちり歩けたので気持ちよかったです。
- 富士山に登りたいので低い山からと思い参加しました。昼から雨が降ったのですが、皆さんの雨対策がとても参考になりました。
- アジサイが圧巻でした。
- 植物の話聞くことが出来て楽しかったです。
- 街では見られない植物の説明を聞いて良かったです。
- いつもは一人で山を歩いているのですが、グループ参加での山歩きを体験出来ました。話もよく聞いて質問にも答えていただいて良かったです。
- 植物は今までは素通りしていたのですが、今日は植物の話が聞いて良かったです。
- 友達の紹介で申し込みました。ただ歩くだけでなく、色々な植物の勉強をさせてもらって良かったです。
- 植物の細かい話を勉強させてもらってありがとうございます。スタッフの皆さんの仲がよくて感じ良かったです。

⑧スタッフの振り返り

- 全員の人が聞けるように、説明時には3班を説明者のちょっと前、真ん前、少し後ろとスタッフが班員の移動を促したことがとてもよかった。また3班をローテーションさせることで不公平感がなくなった。
- みなさん熱心に聞いておられ満足されていた。
- 暑さ対応や途中でリタイヤされる方の対応等の共通理解が必要。
- 雷鳴時の対応も今後話し合っておく必要がある。
- 受付時に枚岡ネイチャークラブの旗しか出してなかったので、参加者が戸惑っていた。きちんと行事名を書いた表示がいる。